

# 久留米市セーフコミュニティ 学校安全対策委員会



発表日 2018年7月30日  
発表者 新山 了一  
所属 久留米市立上津小学校

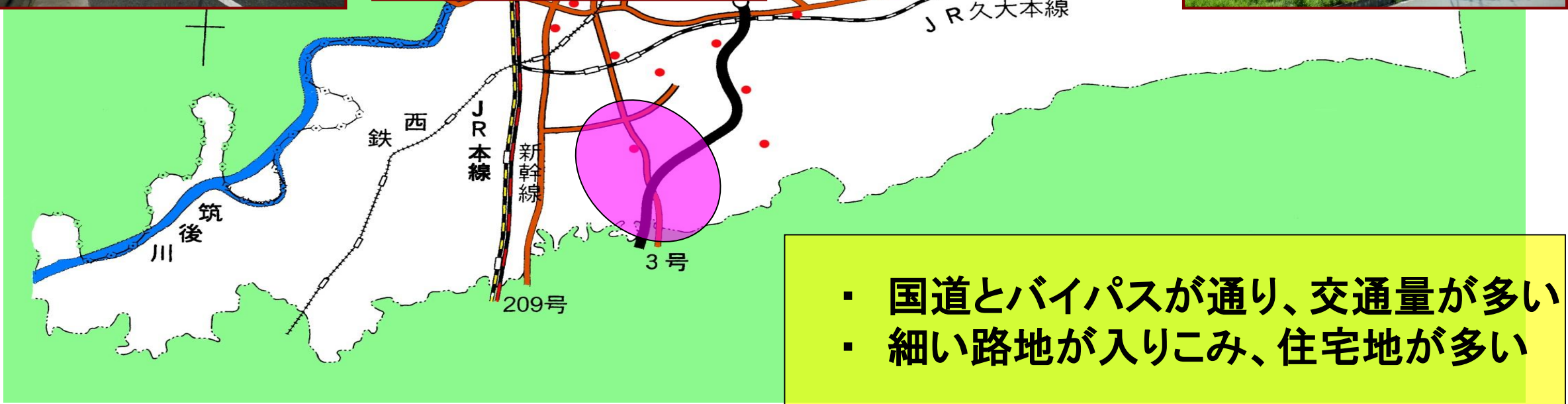
## 1-1 学校安全対策委員会を設置した背景

各学校の実情に合う工夫や連携を取り入れた  
安全安心の仕組みづくり

モデル校の成果を久留米市全体へ  
(データ活用した検証・取り組み・評価の仕組み)

上津小学校をモデル校に指定(交通量の多さ、連携組織の活用)

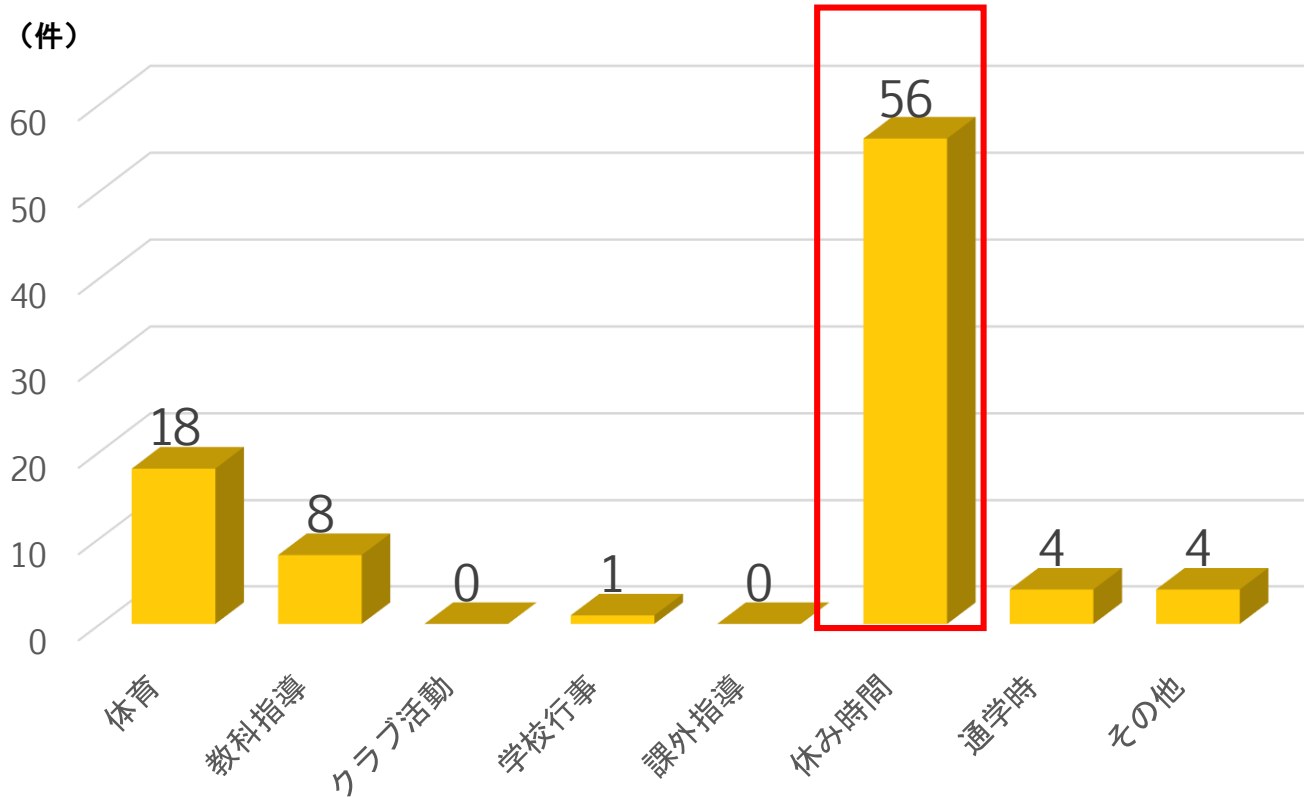
## 1-2 学校安全対策委員会を設置した背景



# 1-3 学校安全対策委員会を設置した背景

上津小学校 日本スポーツ振興センター災害救済給付対象のけがの件数(2011年度)

図表 1



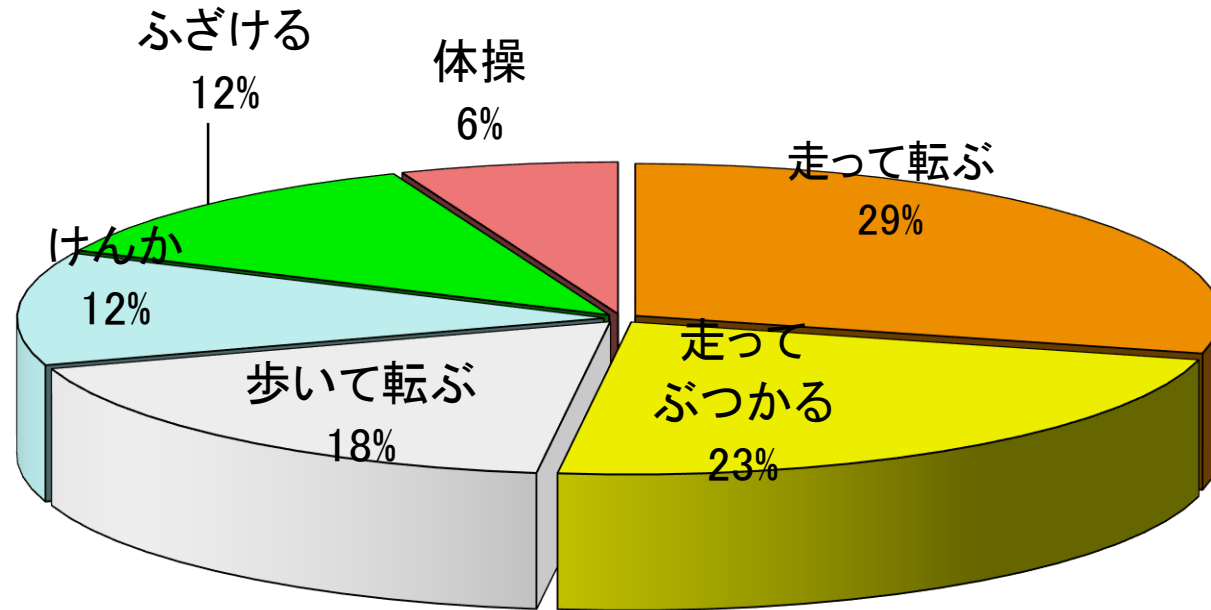
合計件数— 95件(全校児童数715名の13%)

(出典: 日本スポーツ振興センター統計)

## 2-1 モデル校（上津小学校）の状況

休み時間の校舎内(教室、廊下、階段等)けがの原因 (2011年度) N=95

図表2



ルールを守らないでけがをした

82%

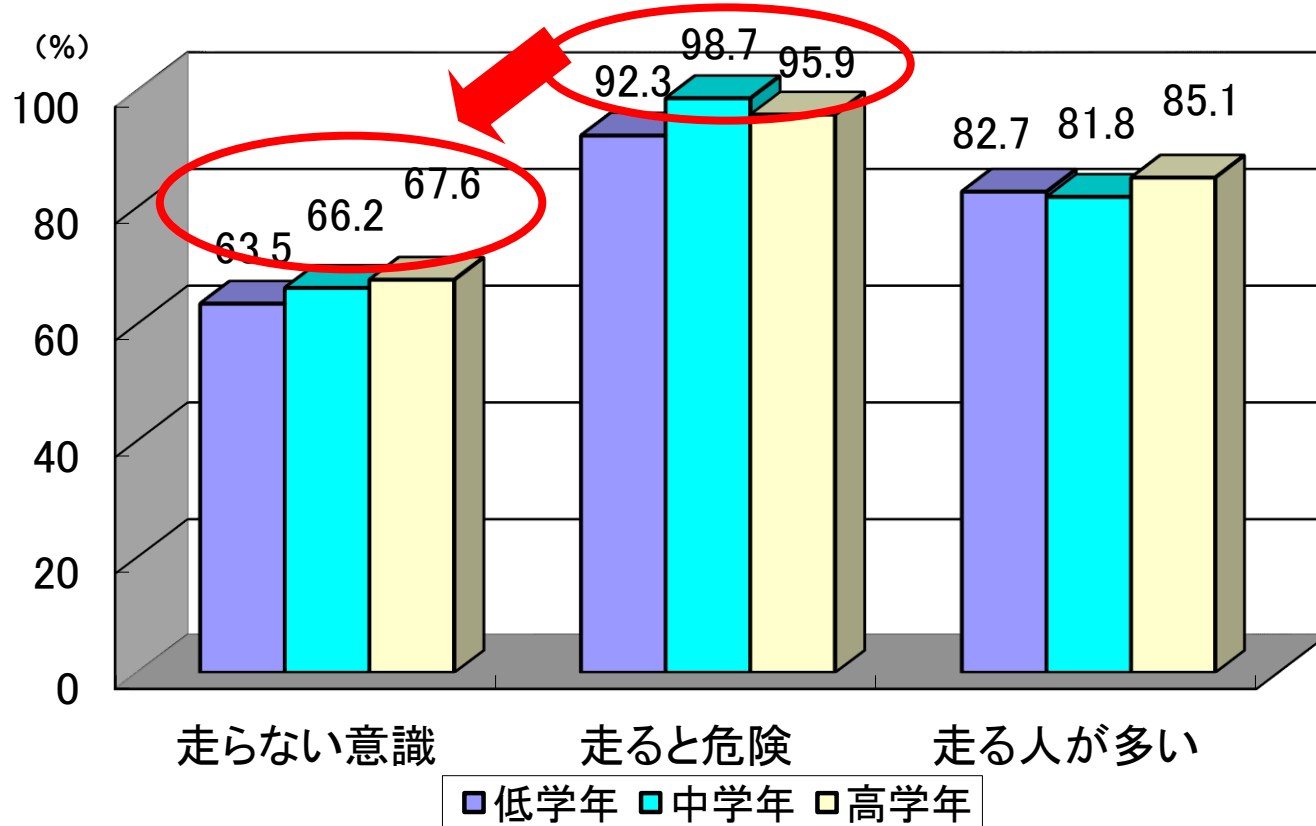
その内で走ったことが原因

52%

## 2-2 モデル校（上津小学校）の状況

図表3

廊下の通り方に関する意識(2012年7月調べ)



低学年n=217  
中学年n=233  
高学年n=248

走らないように意識する児童

約65%

走ると危険と思う児童

90%以上

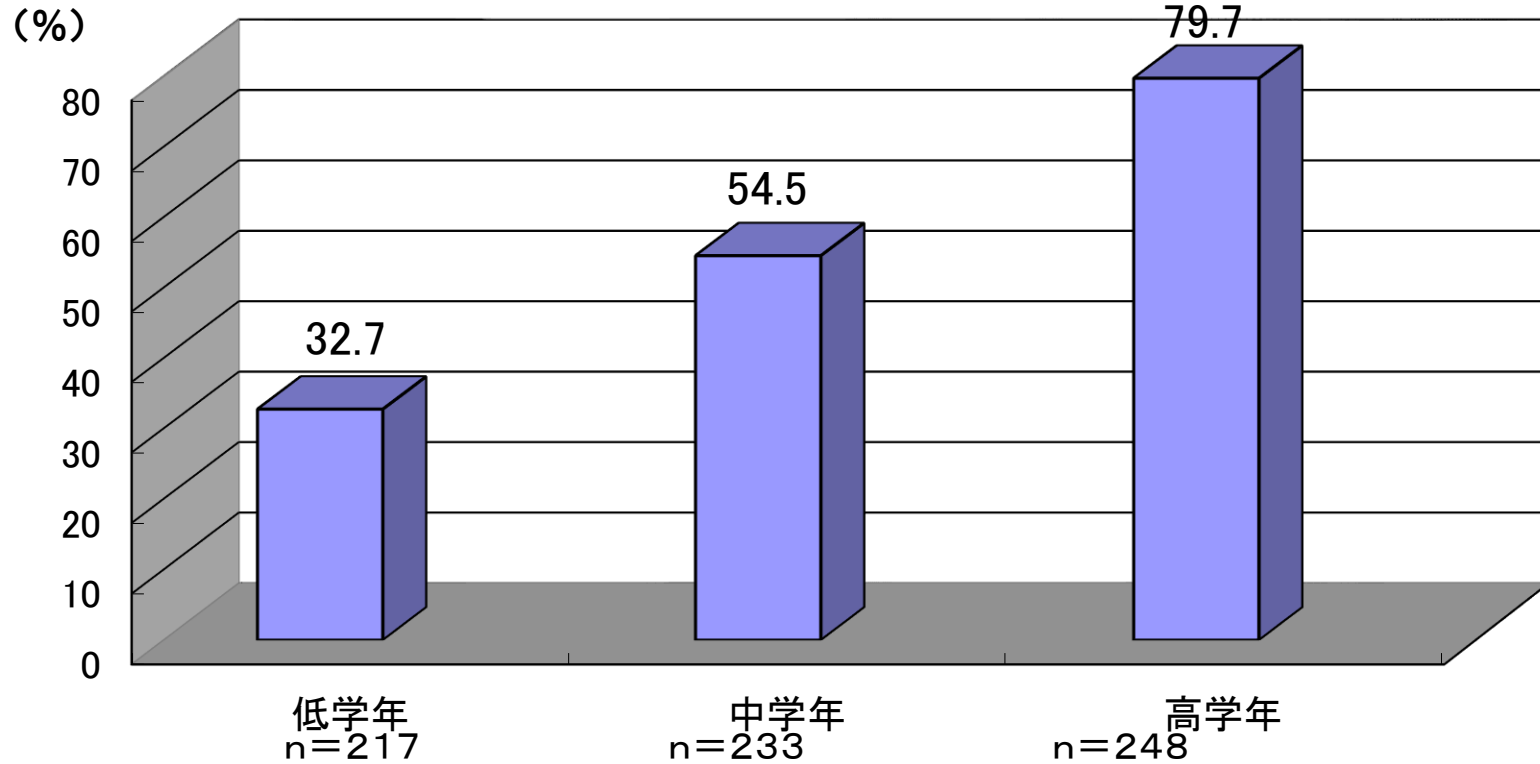
1/3の児童は、危険だと思いつつ走っている

(出典:上津小学校の安全アンケート)

## 2-3 モデル校（上津小学校）の状況

図表4

「歩行者は右側通行」の認識（2012年7月調べ）



(出典: 上津小学校の安全アンケート)

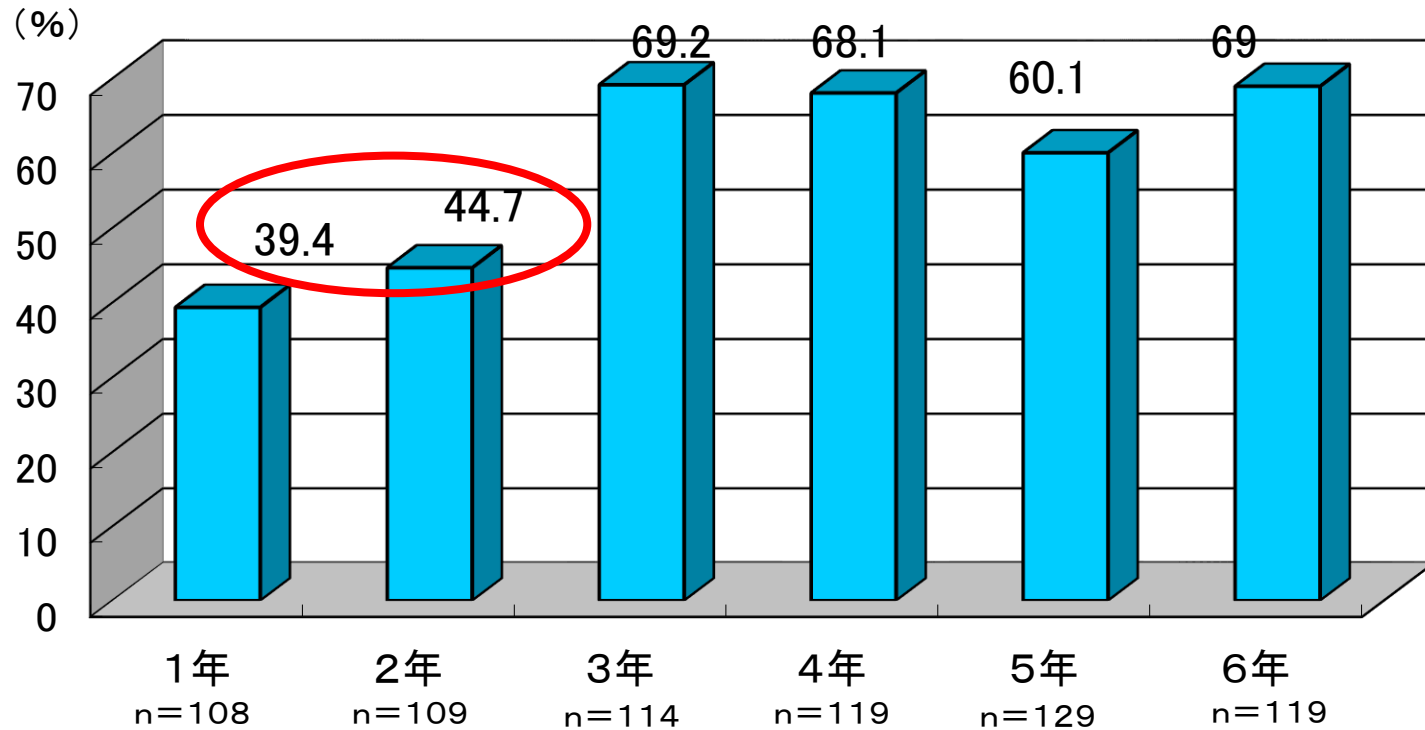
「歩行者は右側通行」の認識

↓  
低・中・高学年と  
順に高くなる



## 2-4モデル校（上津小学校）の状況

図表5 「子ども110番の家」の認知率（2012年8月調べ）



(出典:上津小学校の安全アンケート)

「子ども110番の家」の認知率

約50%

特に1、2年生

約40%



### 3. 課題の整理 (モデル校上津小学校)

#### 客観的データ

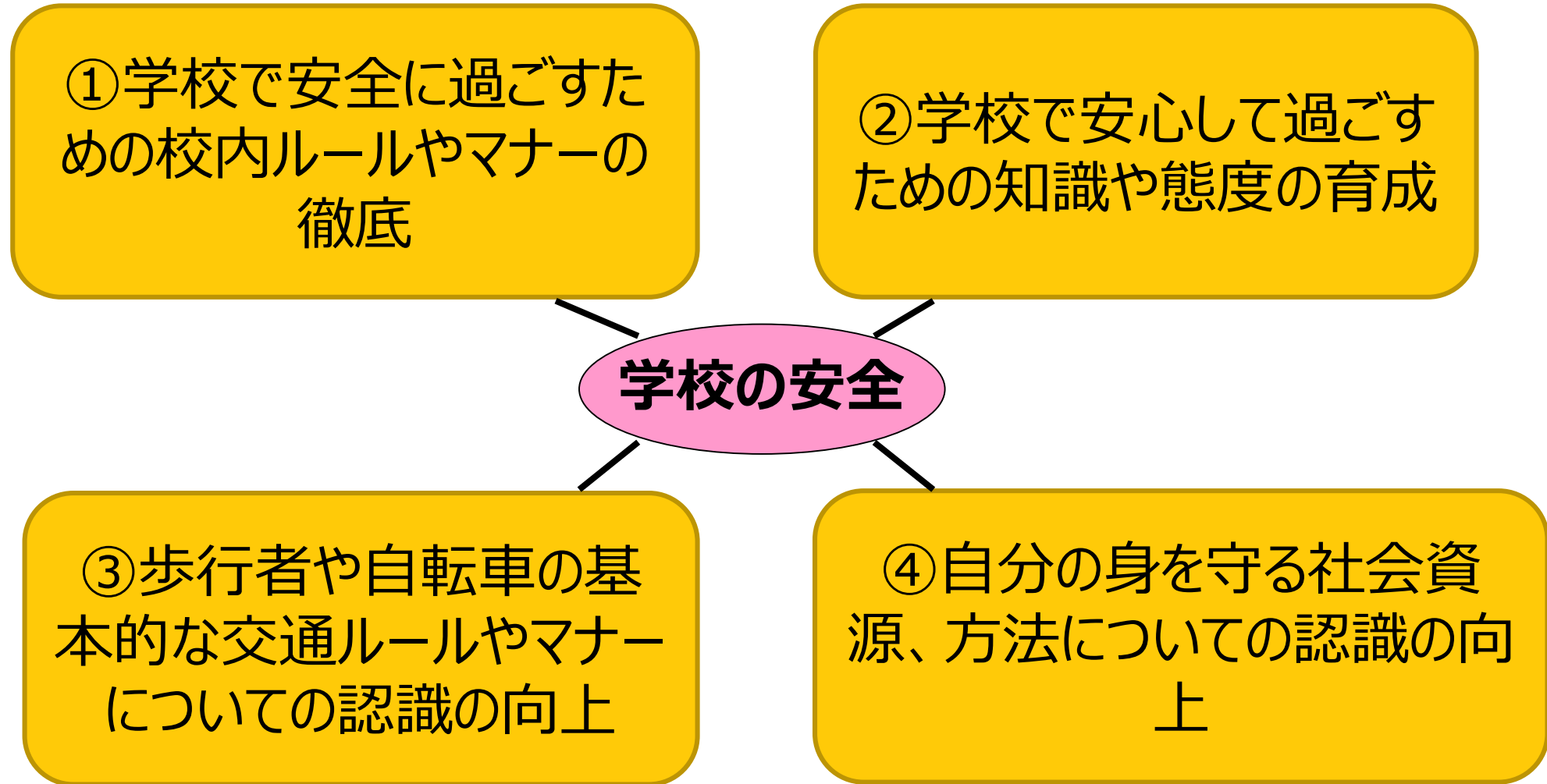
- 休み時間にけがが多い。(図表 1)
- 学校や登下校時に安全に過ごすためのルールやマナーの認識が低い(図表 2～4)
- 安全に過ごすため行動ができていない。(図表 2～4)
- 自分の身を守る社会資源や方法についての認識を高める必要がある。(図表 5)

#### 主観的データ

- 交通量が多く、交通安全上の危険が多い。(P2)
- 細い路地なども多く、防犯上の危険が多い。(P2)

**モデル校の重点課題の決定**

## 4. 優先的に取り組む重点課題



## 5. 学校安全対策委員会の構成メンバー（認証当時）

図表6

区分	NO	所属
住民組織	1	上津校区まちづくり振興会
	2	上津校区交通安全協会
	3	上津校区青少年育成協議会連絡会議
	4	上津校区防犯協会
	5	上津校区人権啓発推進協議会
	6	青陵中学校区人権のまちづくり協議会
学校組織	6	久留米市立青陵中学校
	8	久留米市立青陵中学校PTA
	9	祐誠高等学校
	10	久留米工業大学

区分	NO	所属
モデル校	11	上津小学校
	12	上津小学校PTA
関係機関	13	久留米警察署（生活安全課長）
	14	久留米警察署（少年課長）
行政組織	15	久留米市協働推進部安全安心推進課
	16	久留米市子ども未来部青少年育成課
	17	久留米市教育部学校教育課

**地域組織、学校組織、モデル校、関係機関、行政組織の代表で構成**

## 6. 学校安全対策委員会の開催経過と主な議題（認証後）

図表7

回数	開催日	主な協議事項
第11回	2014.10.20	SCフェスタの開催について、年間活動報告書（案）について
第12回	2014.11.13	安全教育上津プログラムの作成と実践について
第13回	2015.4.20	2014年度活動実績と2015年度取り組み方針について、市民アンケート調査結果の概要について
第14回	2015.10.6	全市一体となった啓発・裾野拡大の取り組みについて、SCフェスタの開催について
第15回	2016.4.19	2015年度取り組み実績と2016年度取り組み方針（案）について これまでの取り組みに関する効果確認・改善について
第16回	2016.12.7	再認証に向けた具体的施策の検証について、再認証に向けたスケジュールについて
第17回	2017.4.24	2016年度取り組み実績及び2017年度取り組み方針（案）について、「ケガや事故の実態調査」について
第18回	2017.7.12	再認証の事前指導について（プレゼン資料等）、セーフコミュニティフェス及び標語の募集と選定について
第19回	2017.10.23	再認証事前指導
第20回	2018.1.25	再認証事前指導の講評への対応、セーフコミュニティ実態調査の活用について
第21回	2018.4.12	再認証本審査、2017年度取り組み実績及び2018年度取り組み方針（案）について

## 7. 認証当時の課題解決のための方向性と対応（具体的施策）





図表 8

課 題	方向性	施策 NO	具体的施策
学校で安全に過ごすためのルールやマナーの徹底	学校内でのけが防止、いじめ防止、防災の意識を高めるための施策の実施	1	校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化
学校で安心して過ごすための知識や態度の育成		2	校舎外で安全に遊ぶ意識付けと実践化
		3	いじめの未然防止・早期発見・早期対応
歩行者や自転車の基本的なルールやマナーについての認識の向上	学校外での交通安全、防犯のための教育や地域と連携した指導を充実させるための施策の実施	4	交通安全教育
自分の身を守る社会資源、方法についての認識の向上		5	地域・保護者と連携した交通指導
		6	防犯教育
		7	地域・保護者と連携した防犯

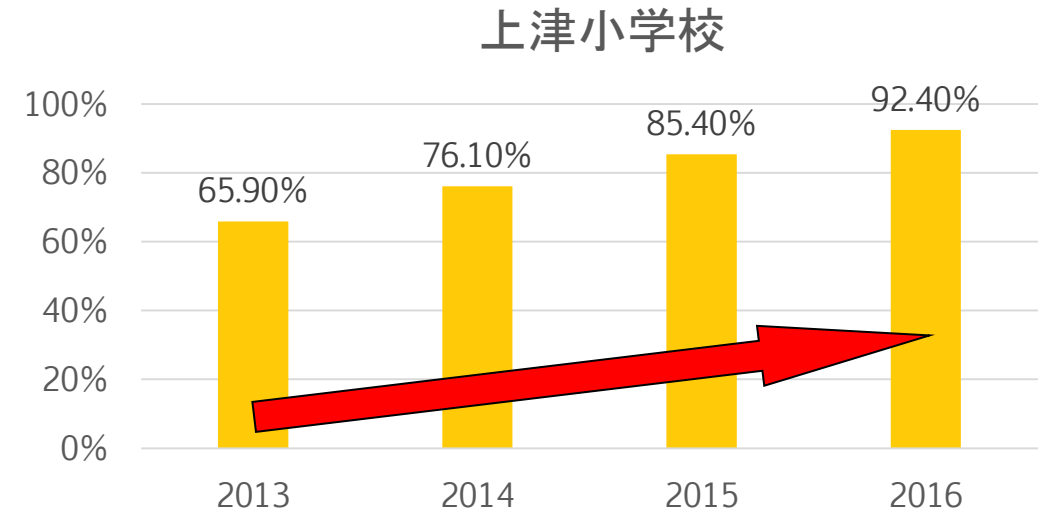
# 8-1. 具体的施策の紹介

## 校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化 (施策No. 1)

### 毎月のけがの状況を知らせるボードの設置

10月12日 上津小 けがのようす							
けがの種類	にん 人	ずう 数	けい 計	けがした 場所	にん 人	ずう 数	けい 計
 しゃぶしゃぶ	●●●●●●●●		31	まようしつ 教室			4
 さしきす きりきす			2	うんどうじょう 運動場	●●●●●●●●		31
 わんさ つきゆび			0	ろう下 階だん			1
 つぢます			1	たいいくかん 体育館			2
その他			0	その他			2

### 校舎内を走らないように意識している児童の割合



図表9

(出典: 上津小学校 校内アンケート集計)

### 委員会を中心とした呼びかけ活動

## 8-2. 具体的施策の紹介

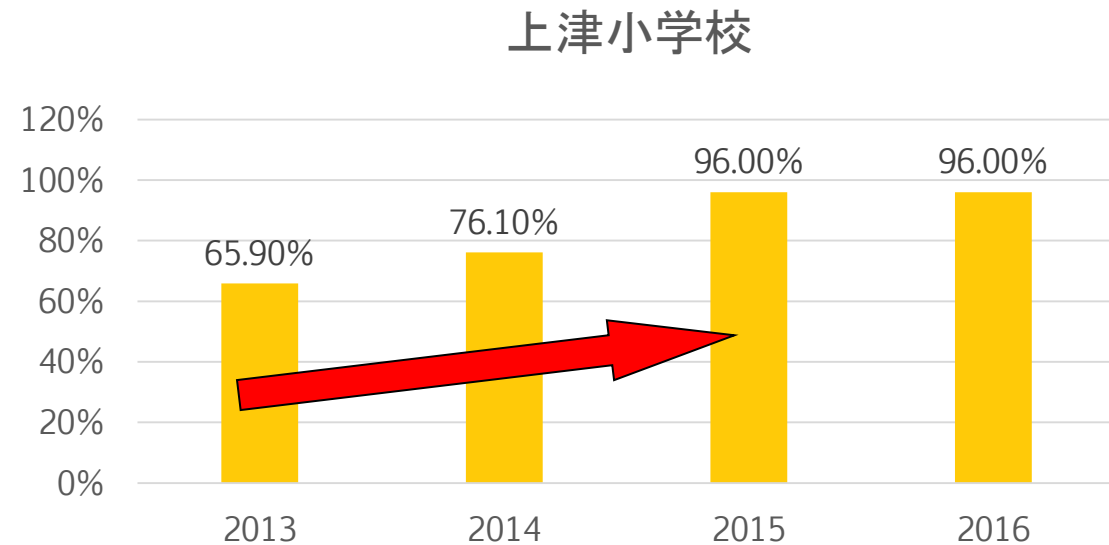
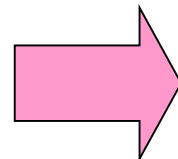
### 校舎外で安全に遊ぶ意識付けと実践化 (施策No.2)

#### 上津小学校の取組

#### 安全に気をつけて過ごすように意識している児童の割合

- ・全校集会で児童会から安全で楽しい遊び方の紹介
- ・児童会を中心に外遊びのルールづくり

児童会を中心とした  
自主的・自治的な取組



(出典:上津小学校 校内アンケート集計)

図表10

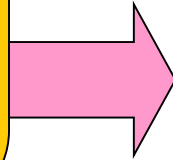


## 8-3. 具体的施策の紹介

### いじめの未然防止・早期発見・早期対応 (施策No. 3)

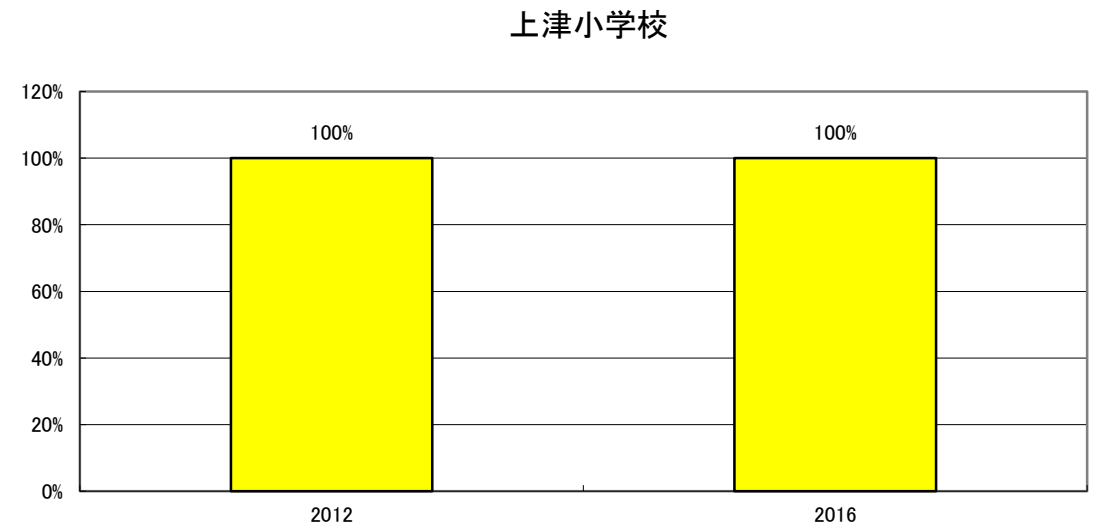
## 上津小学校の取組

- ・学期に1回のいじめアンケート  
やそれに基づく教育相談の実施
- ・10月のいじめ防止強化  
月間の取組



いじめの芽を摘む積極的な取組

### いじめ解消率(いじめ解消件数÷いじめ認知件数)



(出典: 文部科学省統計)

図表11

## 8-4 .具体的施策の紹介 交通安全教育 (施策No. 4)

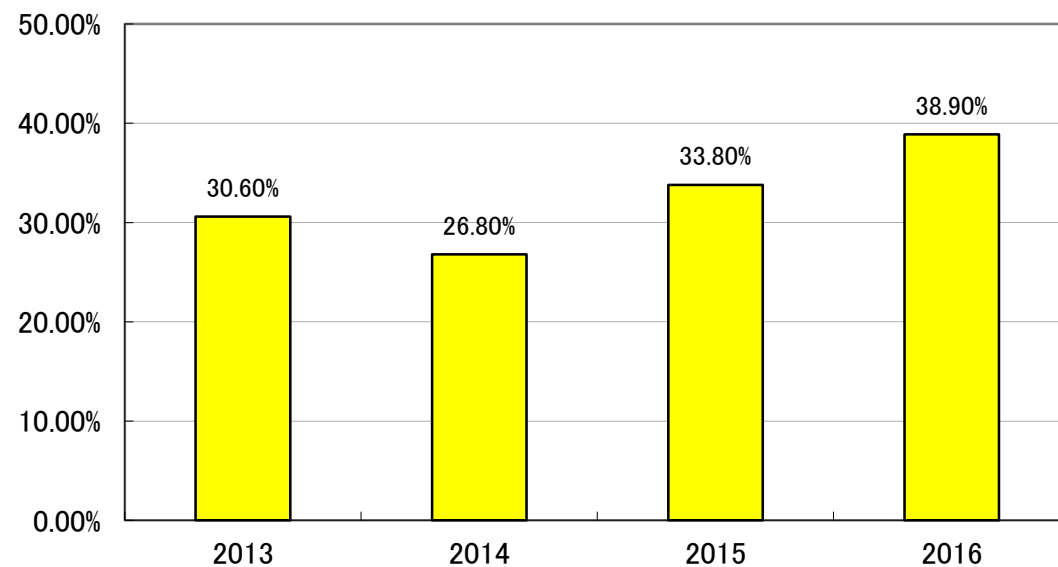


家庭や地域、外部団体が参画した交通教室の実施

## 上津小学校の取組

### ヘルメット所持率

上津小学校



(出典:上津小学校 校内アンケート集計)

図表12

## 8-5. 具体的施策の紹介

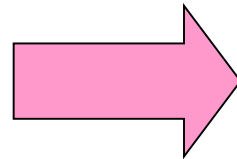
### 上津小学校の取組

#### 地域・保護者と連携した交通指導 (施策No. 5)

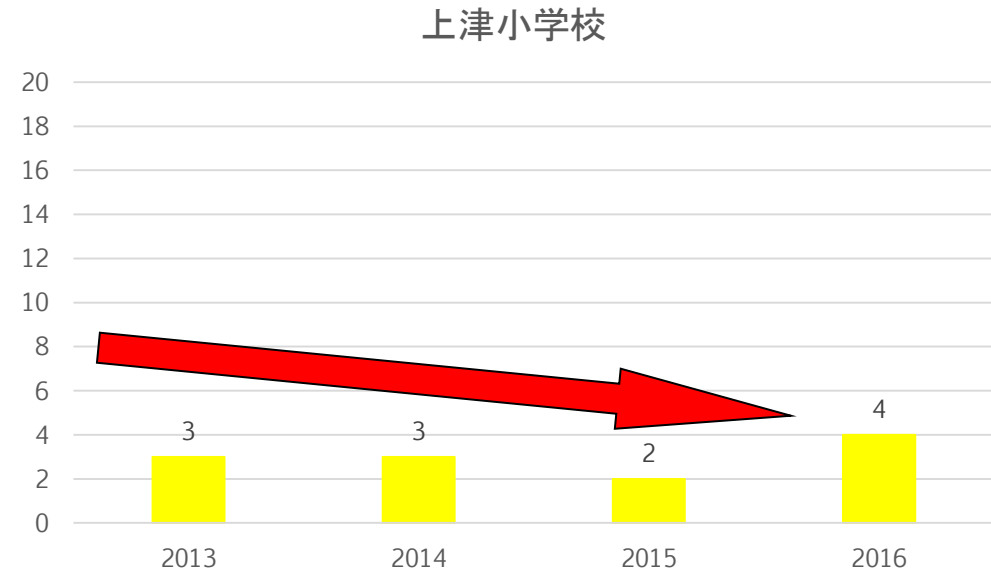
- ・PTAや地域の交通安全協会等の交通指導の場所、時間帯などを調整して実施

危険箇所や時間帯を意識した交通指導の実施

- ・年間延べ約700人の人員が参加



#### 登下校中のけがの件数



(出典: 日本スポーツ振興センター統計)

図表13

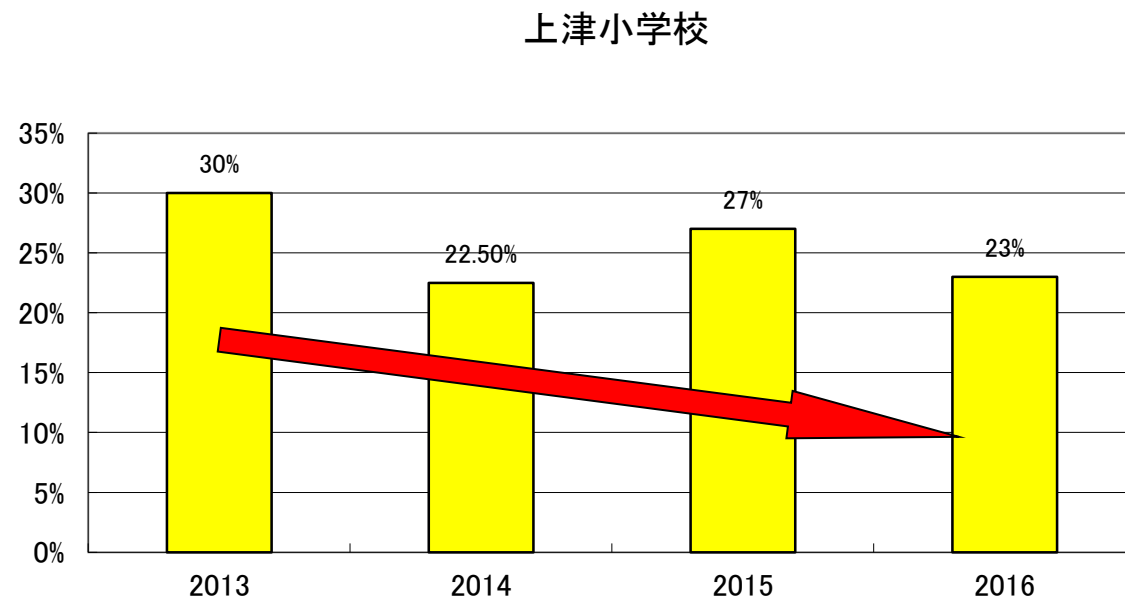
## 8-6. 具体的施策の紹介 防犯教育 (施策No. 6)



地域や保護者と連携して作成した  
安全マップを活用し、実際場面を想定した  
不審者対応の仕方を体験する防犯教室の取組

### 上津小学校の取組

#### 登下校時に不安を感じる児童の割合

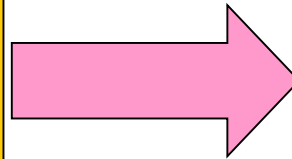


(出典: 上津小学校 校内アンケート集計)

図表14

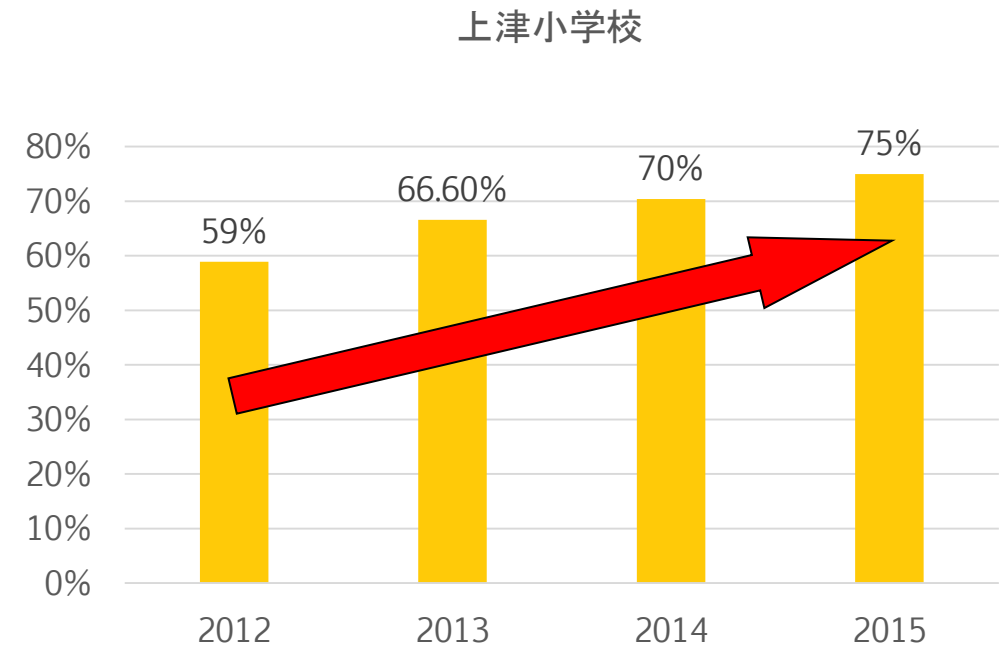
## 8-7. 具体的施策の紹介 地域・保護者と連携した防犯 (施策No. 7)

- ・2年生の校区探検の学習で校区の「子ども110番の家」についての学習を地域や保護者と連携して毎年実施



### 上津小学校の取組

#### 子ども110番の家の認知率



地域や保護者と連携した安全マップづくりや校区探検の取組

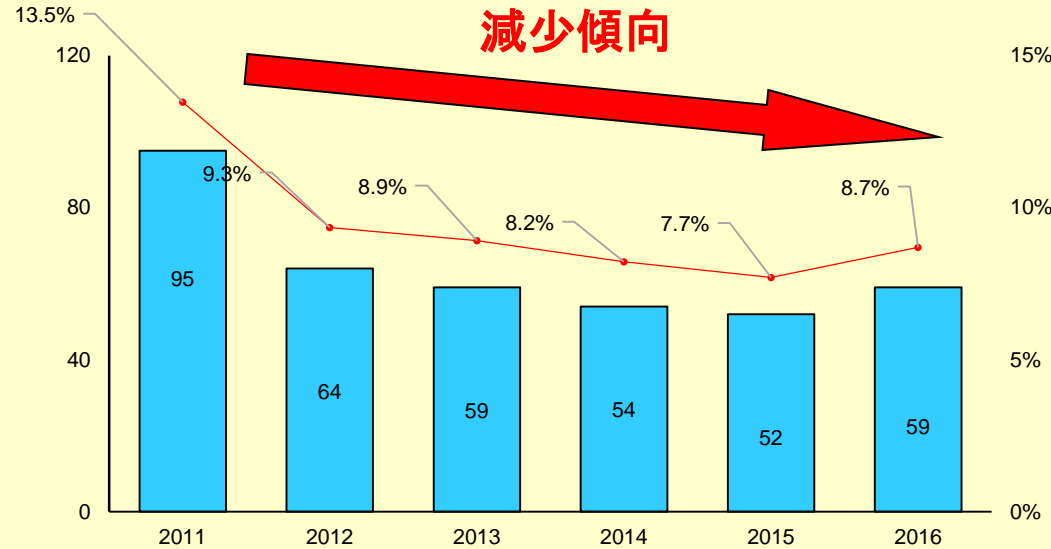
(出典:上津小学校 校内アンケート集計)

図表15

# 9. 学校安全対策委員会の取組の推進

## 小学校でのけがの件数と発生率の推移

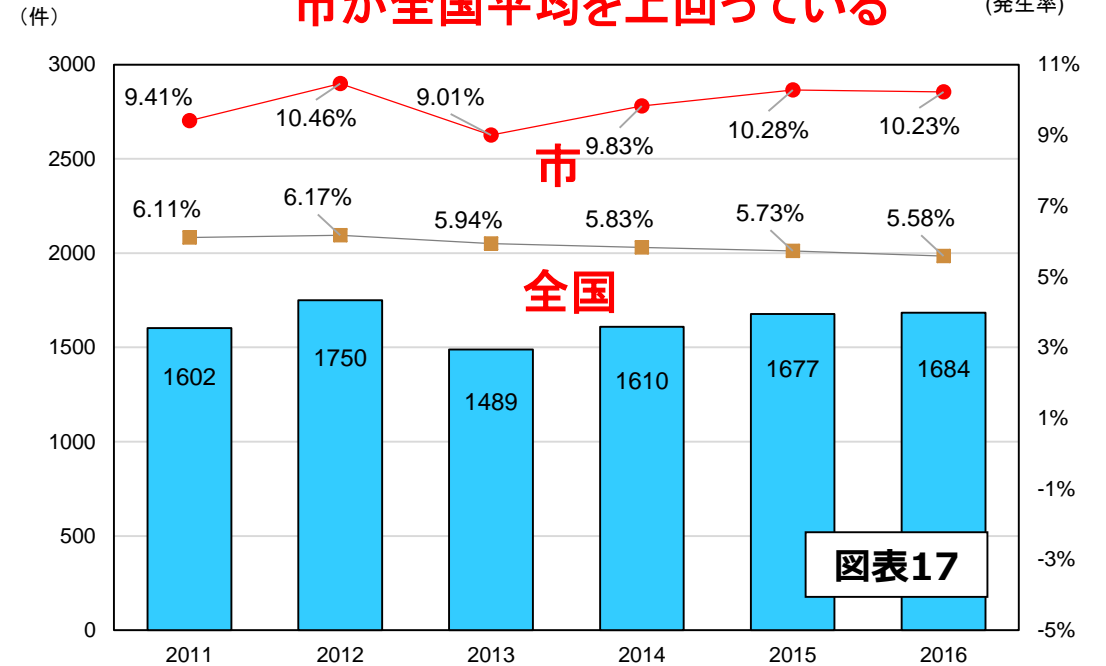
図表16



モデル校 上津小学校

2011年度からはじめた取組により、けがの件数が減少している。

市が全国平均を上回っている



図表17

久留米市内全小学校

2017年度から上津小学校の取組の成果を踏まえつつ、各学校の実態に応じた取組を市内全小学校で開始。

# 10.現在の学校安全対策委員会の構成メンバー

区分	No	所属
住民組織	1	久留米市校区まちづくり連絡協議会
	2	(一社)久留米市交通安全協会
	3	久留米市校区青少年育成協議会連絡会議
	4	久留米市防犯協会連合会
	5	久留米市校区人権協連合会
学校組織	6	久留米市小学校長会
	7	久留米市中学校長会
	8	久留米市小・中学校PTA連合協議会(小学校)
	9	久留米市小・中学校PTA連合協議会(中学校)
	10	筑後地区公立高等学校校長協会久留米支部

区分	NO	所属
モデル校	11	上津校区まちづくり振興会会長
	12	上津小学校校長
関係機関	13	久留米警察署(交通第一課長)
	14	久留米警察署(少年課長)
行政組織	15	久留米市協働推進部安全安心推進課
	16	久留米市子ども未来部青少年育成課
	17	久留米市教育部学校教育課

★取組をモデル校区から全市的なものにするために委員を拡充  
 ★モデル校区の取組を生かしていくために旧モデル校区からも委員を構成

図表 18



# 11.現在の課題解決のための方向性と対応（具体的施策）

課 題	方向性	施策 NO	見直し	具体的施策
学校で安全に過ごすためのルールやマナーの徹底	学校内でのけが防止、いじめ防止、防災の意識を高めるための施策の実施	1		校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化
		2		校舎外で安全に遊ぶ意識付けと実践化
3			いじめの未然防止・早期発見・早期対応	
4		★	火災・地震等の災害から身を守る安全教育	
学校で安心して過ごすための知識や態度の育成				
歩行者や自転車の基本的なルールやマナーについての認識の向上	学校外での交通安全、防犯のための教育や地域と連携した指導を充実させるための施策の実施	5		交通安全教育
		6		地域・保護者と連携した交通指導
7			防犯教育	
8			地域・保護者と連携した防犯	
自分の身を守る社会資源、方法についての認識の向上				

図表19

# 12-1-1. 具体的施策の紹介

## 校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化 (施策No.1)

### 校内でのけがが多い時間帯や場所の分析

図表 20

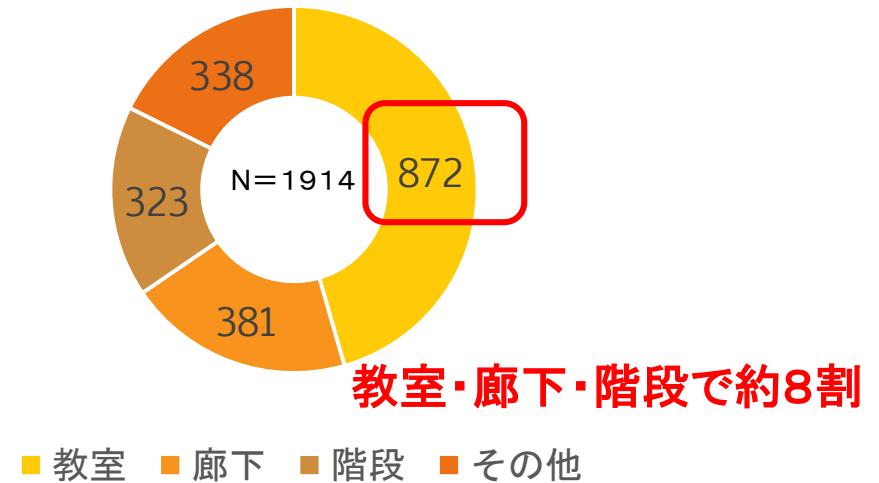
けがをした時の状況



(出典: 日本スポーツ振興センター統計) 2013~2016年までの5年間

図表 21

休憩時間に校舎内でけがをした場所



(出典: 日本スポーツ振興センター統計) 2013~2016年までの5年間

# 12-1-1. 具体的施策の紹介

## 2017年以降の各小学校の取組例

### 校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化 (施策No.1)

#### 委員会を中心とした呼びかけ活動



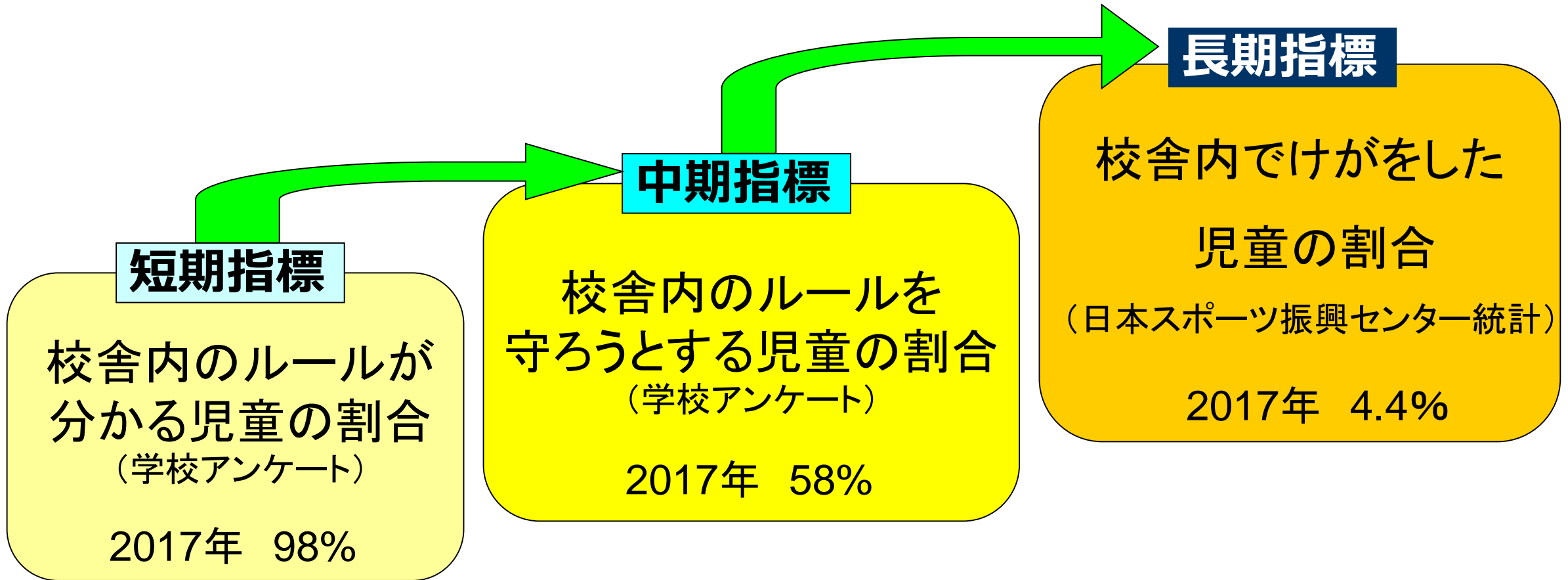
廊下の通り方について委員会で呼びかける活動



校内安全マップの作成

## 12-1-2. 具体的施策の紹介

### 校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化 (施策No.1)

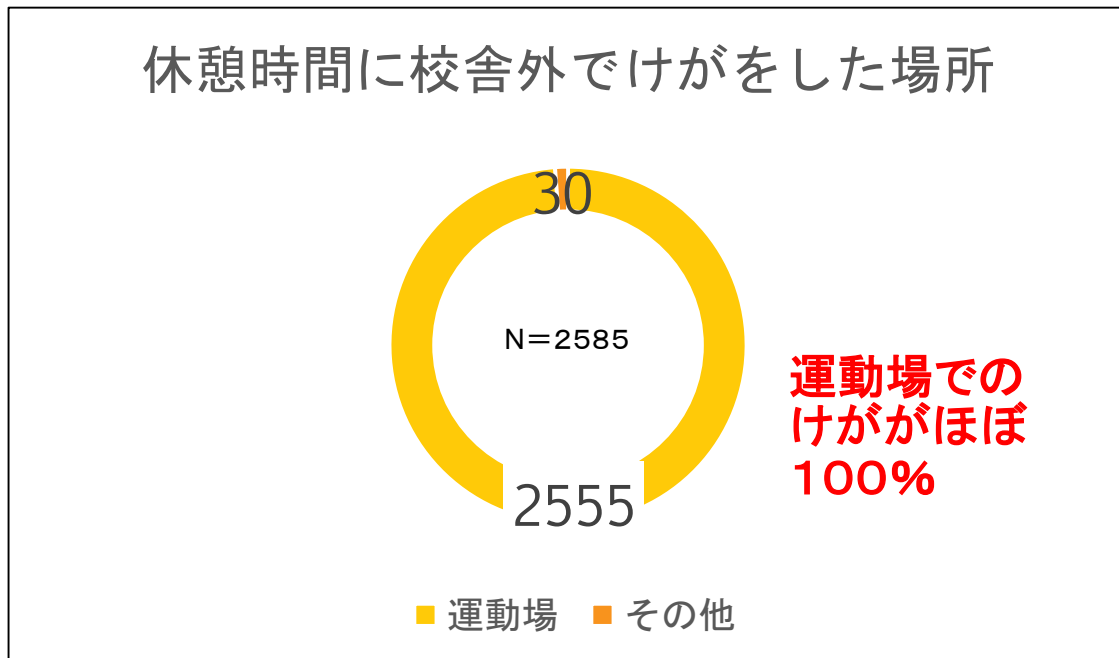


# 12-2-1. 具体的施策の紹介

2017年以降の各小学校の取組例

## 校舎外で安全に遊ぶ意識付けと実践化 (施策No. 2)

図表 2 2



(出典: 日本スポーツ振興センター統計) 2013~2016年までの5年間

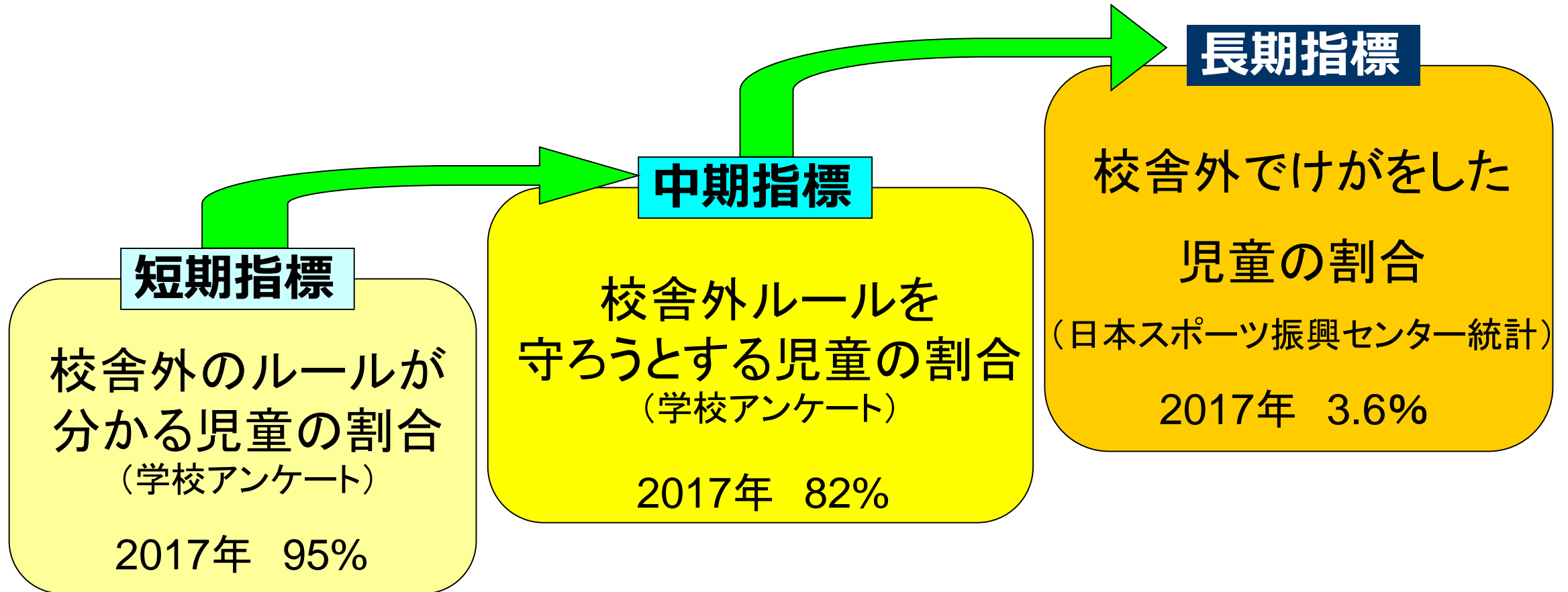
児童会を中心とした  
自主的・自治的な取組



体育委員会の子ども達が運動場でのけがの状況や遊ぶ時の注意について呼びかける様子

## 12-2-2. 具体的施策の紹介

### 校舎外で安全に遊ぶ意識付けと実践化 (施策No.2)



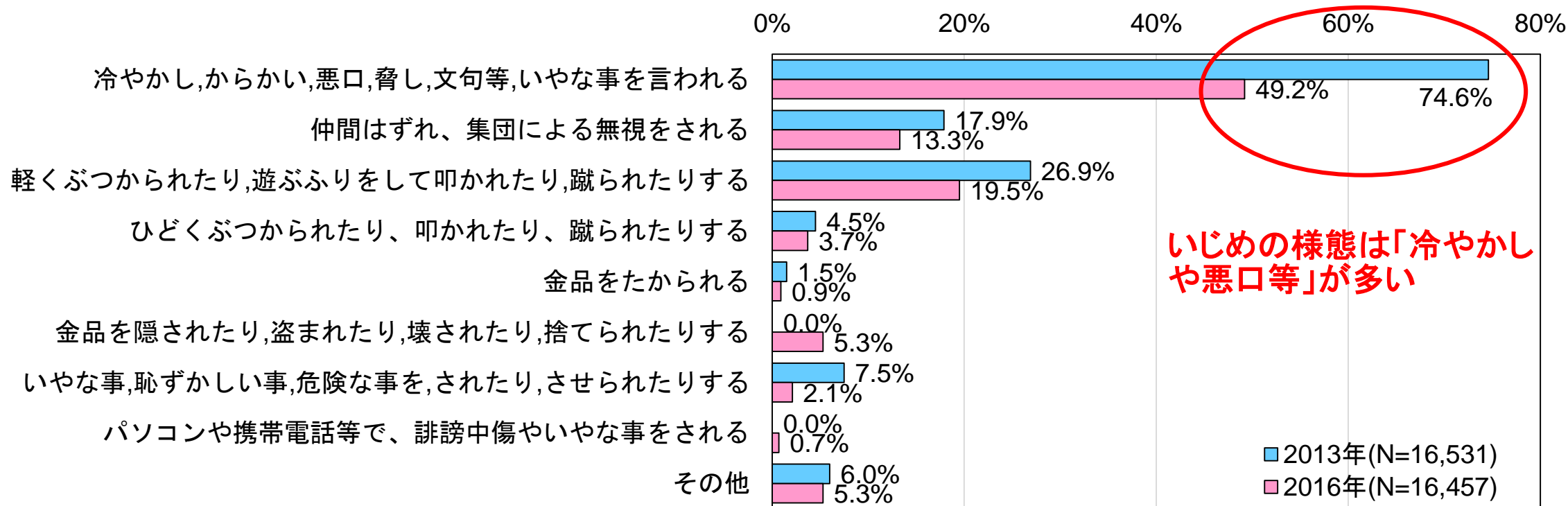


# 12-3-1. 具体的施策の紹介

## いじめの未然防止・早期発見・早期対応 (施策No. 3)

### いじめの態様別の割合

図表 2 3



(出典: 文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査



# 12-3-1. 具体的施策の紹介

## いじめの未然防止・早期発見・早期対応 (施策No. 3)

・いじめアンケートや教育相談の実施

・ソーシャルスキルトレーニングの実施

2017年以降の  
各小学校の取組例

### 短期指標

いじめは許されないことが分かる児童の割合  
(学校アンケート)

2017年 99%

### 中期指標

いじめをしないように  
気を付ける児童の割合  
(学校アンケート)

2017年 84%

### 長期指標

「いじめ解消率」  
(文部科学省統計)

2017年 82.6%

いじめの芽を摘む  
積極的な取組

# 12-4-1. 具体的施策の紹介

2017年以降の各小学校の取組例

## 火災・地震等の災害から身を守る安全教育 (施策No. 4)

災害時の危険を想定した避難訓練



火災を想定した  
体験的な避難訓練の実施



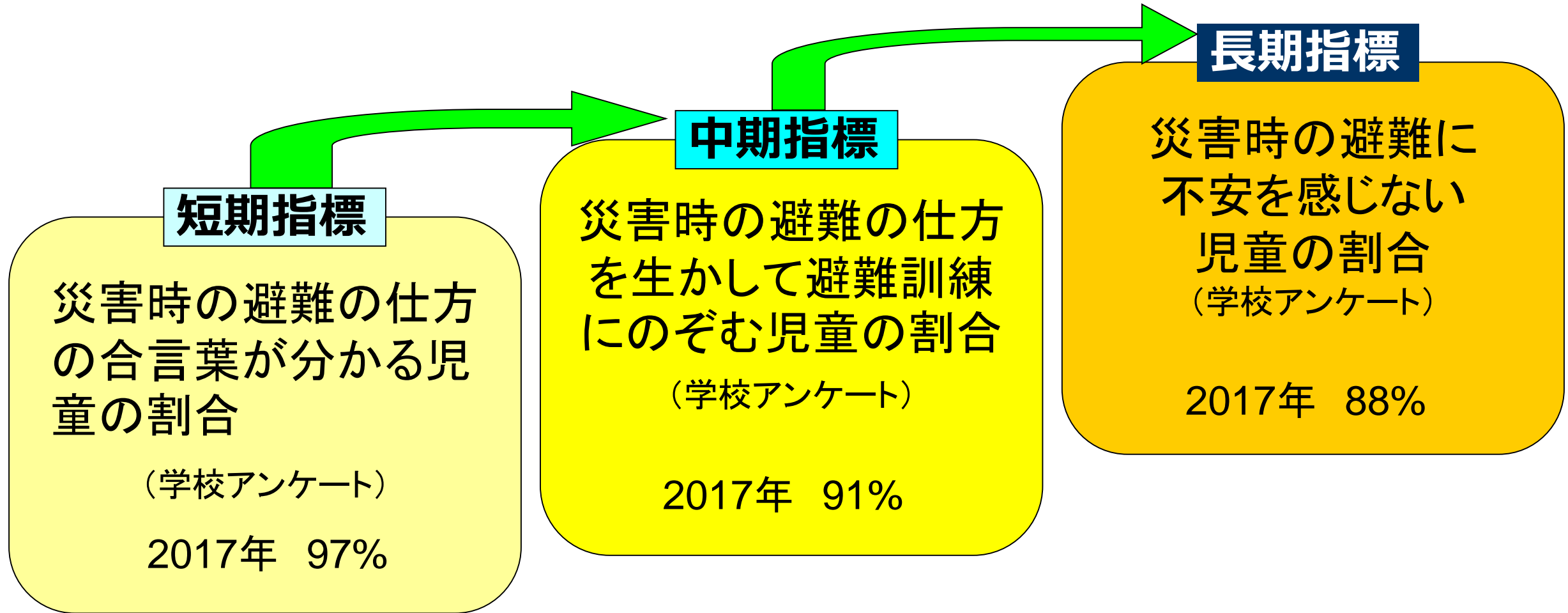
地震を想定した  
避難訓練の実施



緊急避難場所の  
日常的な確認

## 12-4-2. 具体的施策の紹介

### 火災・地震等の災害から身を守る安全教育 (施策No. 4)



# 12-5-1. 具体的施策の紹介

## 交通安全教育 (施策No. 5)

2017年以降の各小学校の取組例

### 外部団体が参画した交通教室の実施



### 警察が参画した体験的な交通教室の実施



## 12-5-2. 具体的施策の紹介 交通安全教育 (施策No. 5)

### 2017年以降の各小学校の取組例

#### 実践的な交通教室の実施



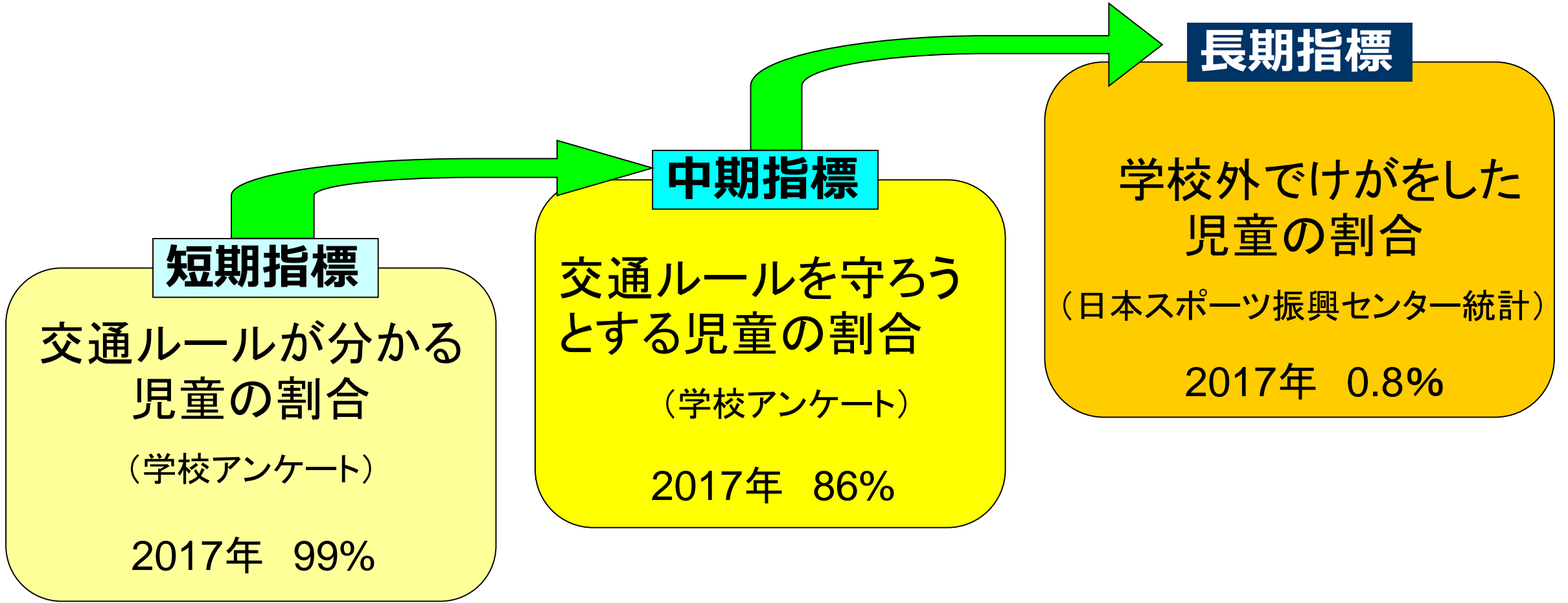
自動車学校と連携した交通教室の実施



警察と連携した自転車教室の実施

# 12-5-3. 具体的施策の紹介

## 交通安全教育 (施策No. 5)



# 12-6-1. 具体的施策の紹介

## 2017年以降の各小学校の取組例

### 地域・保護者と連携した交通指導 (施策No. 6)



危険箇所に重点を置いた交通指導の実施

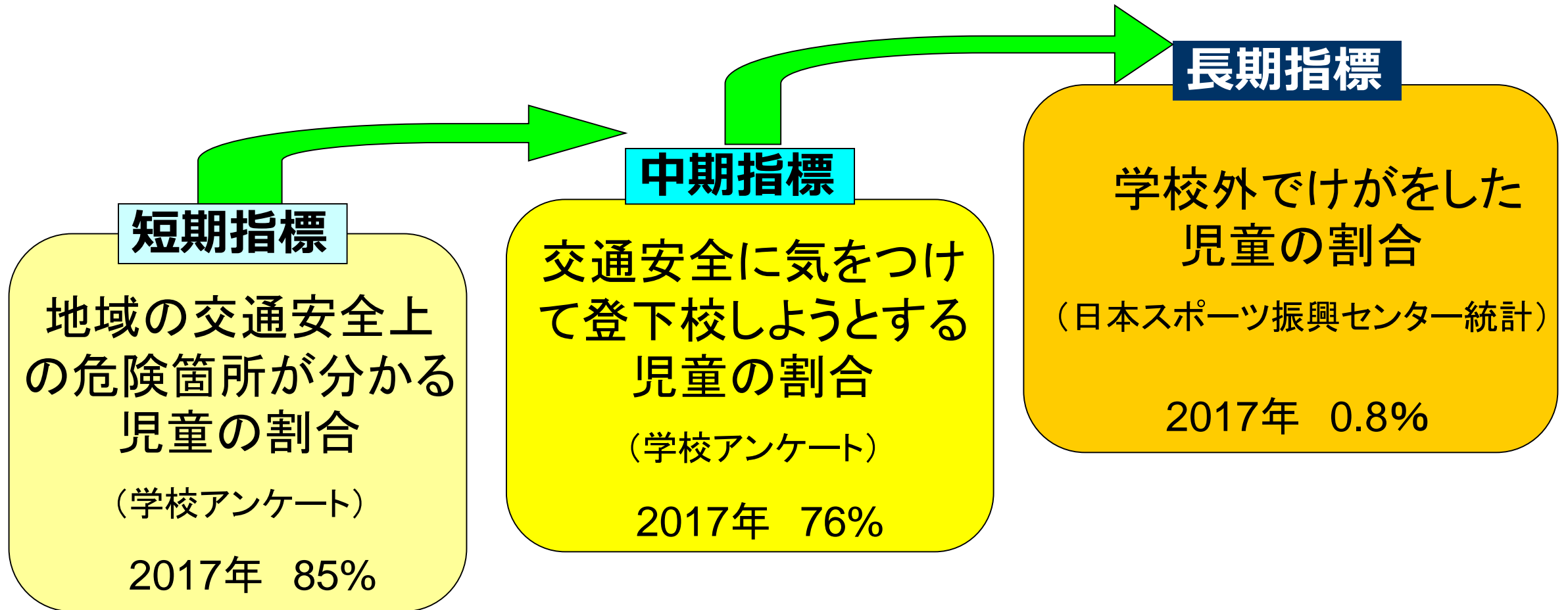


地域の方による自転車点検の実施



## 12-6-2. 具体的施策の紹介

### 地域・保護者と連携した交通指導 (施策No. 6)



# 12-7-1. 具体的施策の紹介

## 防犯教育 (施策No. 7)

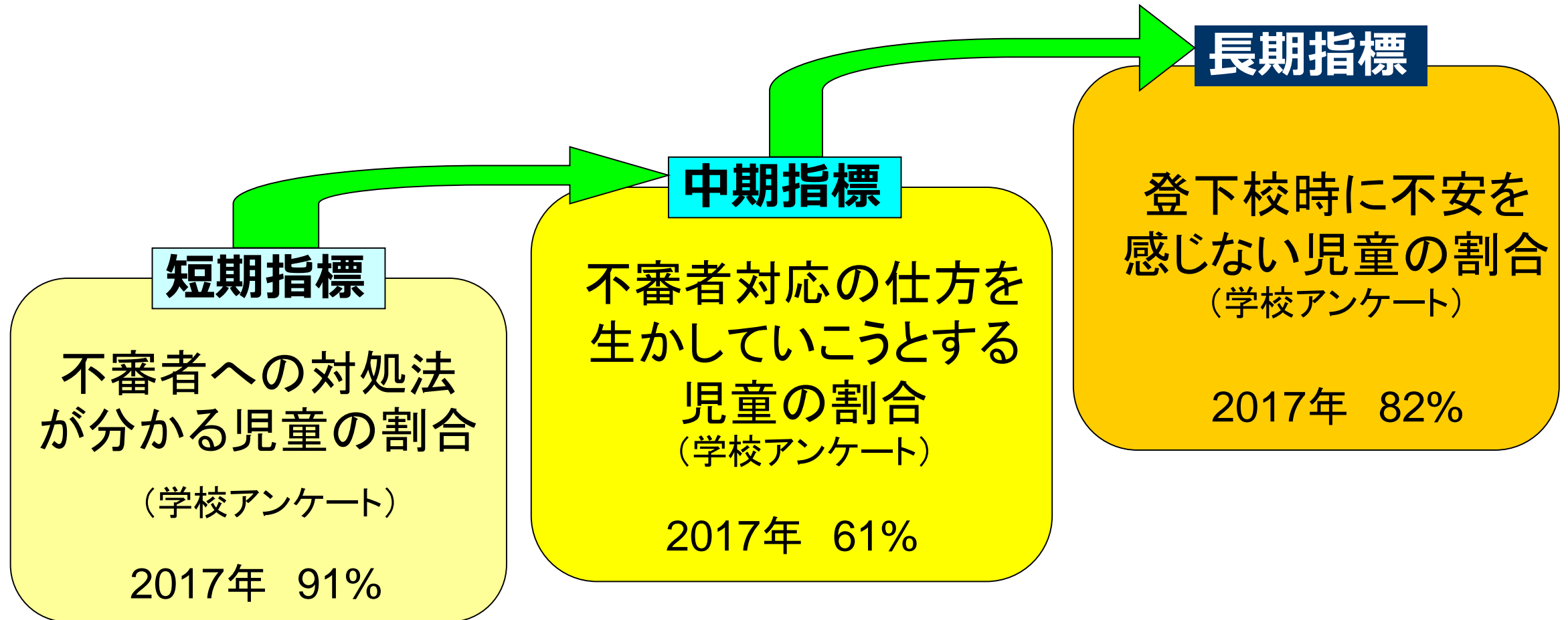
### 2017年以降の各小学校の取組例

#### 実践的な防犯教室の実施



#### ロールプレイを取り入れた体験的な防犯教室の実施

## 12-7-2. 具体的施策の紹介 防犯教育 (施策No. 7)



# 12-8-1. 具体的施策の紹介 地域・保護者と連携した防犯 (施策No. 8)

## 2017年以降の各小学校の取組例

### 地域や保護者と連携した 安全マップづくりの取組



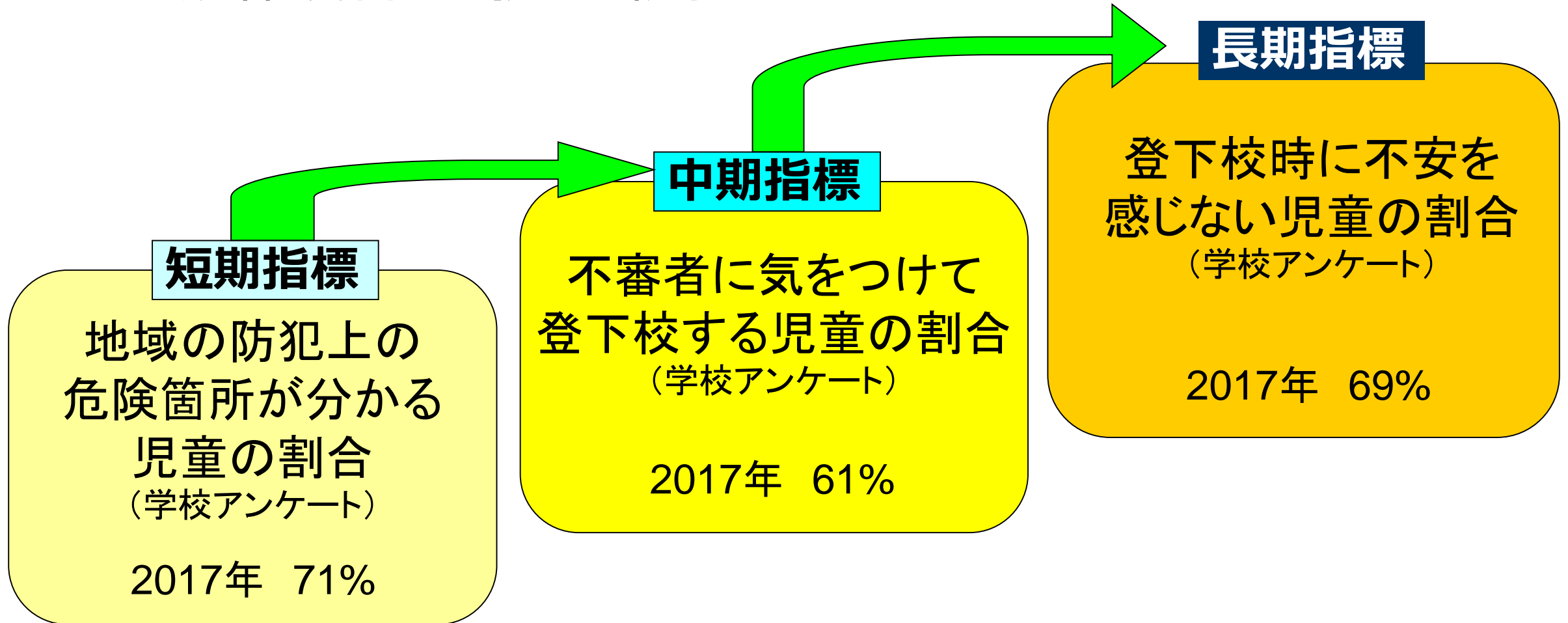
防犯上の危険箇所の確認やマップの作成



給食の時間に地域の方からの防犯の話

## 12-8-2. 具体的施策の紹介

### 地域・保護者と連携した防犯 (施策No. 8)



## 14. 認証取得後の変化

**全46小学校が上津小学校のモデルを参考にした  
安全教育プログラムを作成**

**毎月21日の「セーフコミュニティの日」に合わせて  
校内放送での啓発活動を15校が実施  
登校指導を8校が実施**



## 15. 今後の目標

- 統一した項目でセーフコミュニティに関するアンケートを実施し、成果や課題を分析して改善策を考えるPDCAサイクルを各学校で確立させていくこと。
- 各小中学校区の実態に応じて、学校・家庭・地域が連携しながら、交通安全や防犯の取組を重点化していくこと。
- 災害時を想定した防災教育を充実させていくこと。



No	助言・指摘事項・課題	対応方針(事務局案)
1	成果指標については、日本スポーツ振興センター災害給付対象けがの件数ではなく、久留米市全児童数に対するけがの割合で評価するべきではないか。	今後は、久留米市全児童数に対するけがの割合で評価するようにする。
2	けがのデータを学年ごと、時間帯ごと、場所ごとなどで詳細に分析して対策を考えるべきではないか。学年の発達段階によってもけがの傾向が違う。	今後は、けがの発生時間、学年、場所など詳細についても分析していく。
3	外傷調査委員会によると、10歳未満の死因のNo.1は、溺死。10～19歳では、自殺となっている。溺れと自殺については何か取組があるのではないか。	自殺については、自殺予防対策委員会が取組を推進している。自殺予防については、例年4月に、「悩み相談窓口紹介カード」を小学1年生、4年生の全児童、中学1年生全生徒に配布している。水難事故防止については、各学校で着衣水泳体験などの学習を行っている。
4	対面のいじめよりネットいじめが深刻なので、状況把握してほしい。	毎年実施している「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」において、「いじめの態様」の中で「ネットいじめ」は、いじめ全体の1%程度という報告になっている。
5	現地審査では、子どもの声を届ける機会を設けてほしい。	本審査では、プレゼンの中に子どもの動画を入れるなどして、活動の様子や、子どもの思いや願いがより伝わるように工夫したい。
6	学校の委員会活動の中で、子ども達が自分たちで考えて取り組んでいくようなことをもっと進めてほしい。	校舎内・校舎外でのけがを減らすための取組は、そのような視点で取り組んでいる。
7	「学校は楽しいですか」という質問では、いじめの現状が把握できないのではないか。	今後は、いじめについては、久留米市立小学校の、いじめの要因別認知件数の変化などを分析し、それに基づいた取組の充実といじめの解消を図ってきたい。
8	松原市を参考にして、学年や学校を超えた取組も考えてみてはどうか。	学校の安全については、まずは、モデル校上津小学校の取組を各学校に広げていくことに注力していく。

SC 調査の結果を受けての対応について(学校教育課)

No	分析事項	協議事項
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生は、地域の避難所の認知度が低い。</li> <li>・自治組織主催の避難訓練への子どもの参加率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を学校や地域が合同で実施するなどの工夫。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車保険の加入率が低い。</li> <li>・自転車運転時のヘルメットの着用率が低い。</li> <li>・登下校時に事故に会いそうになったことがある子どもの割合が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全で更なる啓発が必要。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者にあった場合に、だれかに知らせたり相談したりしていない子どもが見受けられる。</li> <li>・「子どもが不審者に会うのが不安」と答えた保護者は多いが、不審者対策はあまりなされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯のキーワード「いかのおすし」の更なる徹底が必要。</li> </ul>